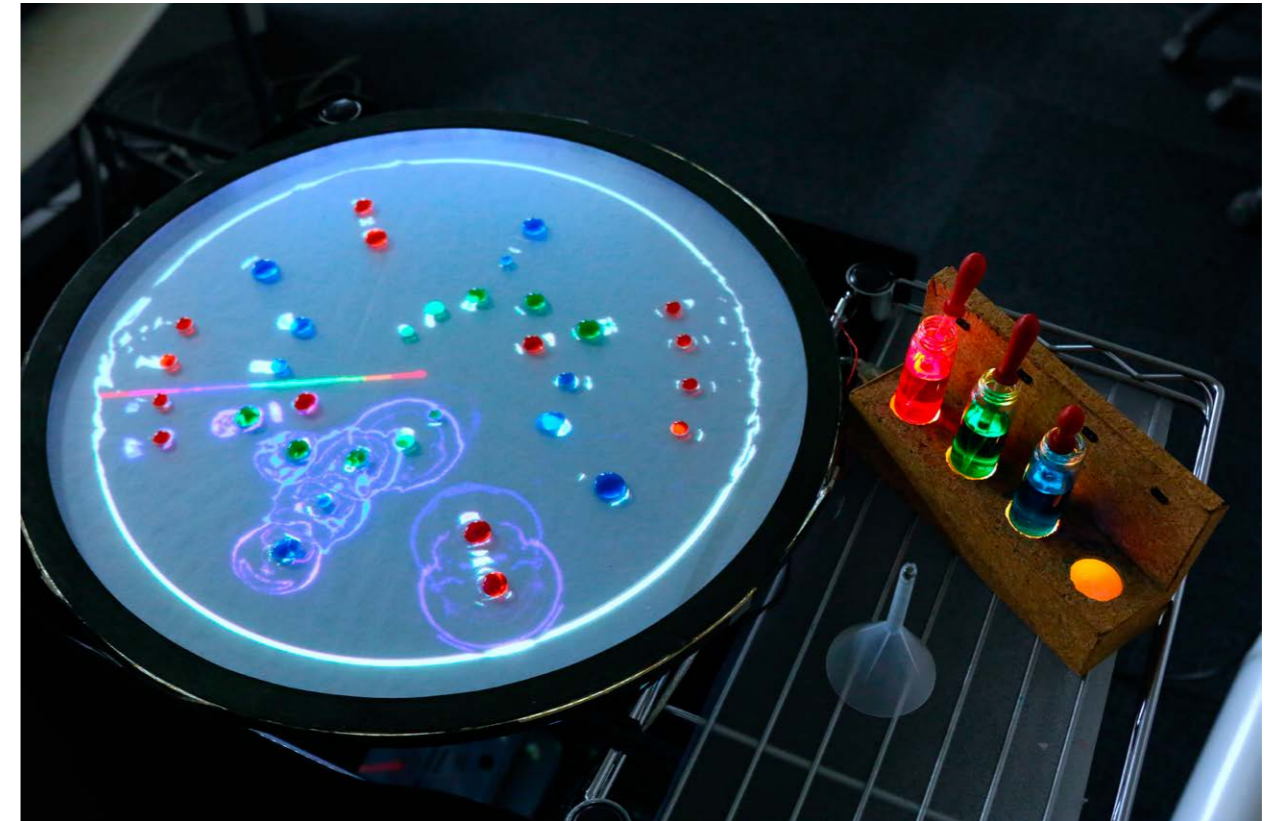


「DropNotes」

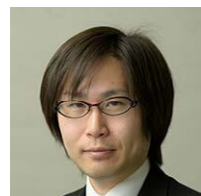
インタラクティブメディア学科 中島武三志 Musashi Nakajima



本作品は、瓶、スポイト、ろうとといった道具によって直感的に水を操作しながら、音楽を創作する色水の図形楽譜メディアである。楽譜は音楽を表現するメディアであるが、従来の五線譜やピアノロールといった音楽情報の記録には、記譜法や鍵盤の知識が必要であった。本作品では、「ろうとを瓶に入れる」、「スポイトで色水を吸い取る」、「テーブルに水滴を滴下する」といった行為がそれぞれ「録音」、「音源選択」、「編集」と対応しており、従来と比べて直感的かつ柔軟な音情報へのアクセス方法を実現する。水を扱う道具の操作は細かな身体動作を伴うが、人間はそうした動作を無意識に身につけている。また、水は特定の形状を持たず、水滴の滴下量に応じて形状を連続的に操作できるため、音情報とのマッピングをする上でのメリットがある。本作品ではこうした特徴を応用し、音楽制作における録音・編集作業をシームレスに統合し、色水とプロジェクションマッピングによる視覚的な美や、五線譜と比較した自由度の高さと直感性を兼ね備えた図形楽譜としての価値を付加する。



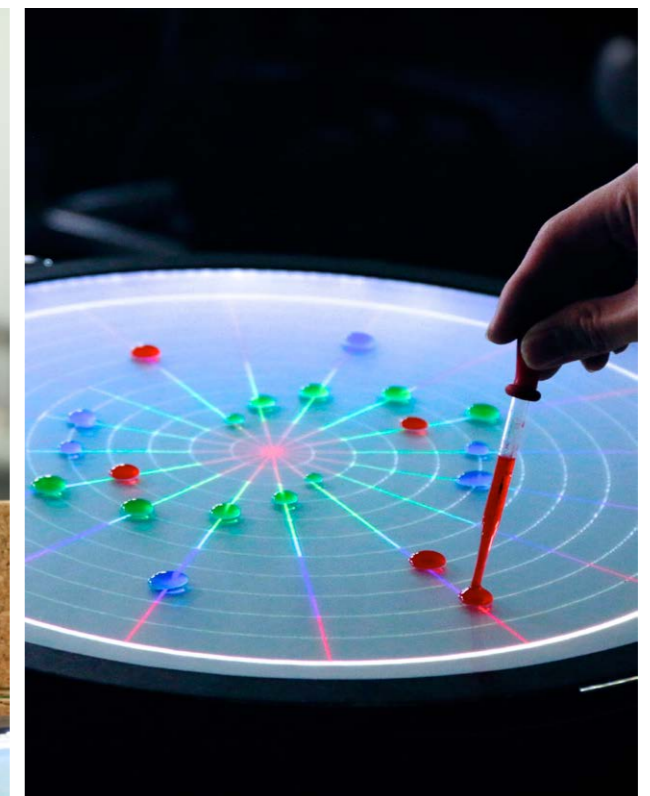
作品の外観



早稲田大学理工学術院基幹理工学研究科表現工学専攻博士後期課程単位取得退学。身体性に基づいた感性情報メディアに関する研究に従事。実体を持つオブジェクトのアフォーダンス／シグニファイアを生かしたインタラクティブアートや、マルチモーダル／クロスモーダルな人間の知覚を応用したメディアなどの制作・評価を主に手がけ、身体によって強く影響を受ける人間の感性を追求している。



音を吹き込む様子



水滴を滴下する様子